

(別紙 4)

理数教育の抜本的充実に向けて

平成18年4月25日

阿部 博之
薬師寺 泰蔵
岸本 忠三
柘植 綾夫
黒田 玲子
庄山 悦彦
原山 優子
黒川 清

科学技術創造立国の礎は、これを支える優れた人材の育成にある。科学技術における世界的な競争が高まる中、各国とも、人材育成のために理数教育の充実を重要課題の一つとして位置づけ、政策的に強化を図ってきている。

科学技術創造立国を目指す我が国としては、少子化により経済力、科学技術力が低下していくという条件下にあるという現実を直視し、特に、これからの我が国に必要とされるトップレベルの人材の育成を目指し、世界最高水準の理数教育を行うべく、改革プラン2006で指摘した小・中・高等学校等における理数教育の抜本的充実を図る必要がある。

関係する府省においては、このための検討を行うとともに、早急に対応すべきものについては、平成19年度に向け、施策の格段の強化を図る必要がある。

1. 学校教育の改善・充実

(1) トップレベルの人材の育成

世界のトップレベルの人材を育成するため、高い能力を有する者に対する、飛び級など学校教育制度の中での例外的扱い。

スーパーサイエンスハイスクールの強化、国際科学オリンピックなどへの参加促進及びこれらと高大連携の強化。

(2) 外部専門人材による指導態勢の強化

充実した理科教育を行えるよう、外部の専門人材を活用した理科指導者の全国配置、科学技術に関する知識の研修などによる教員の指導力の強化。

(3) 基盤となる知識の確保

体系的に知識を学ぶことは、独創性、思考力、応用力などの能力や興味関心を養う基盤。基盤となる知識の確保を徹底するため、カリキュラムを国際的に比較して高度化、教科書における知識内容を拡充、知識を実感させるための実験や観察等の学習を充実。

理科系に進む者については、大学受験の安易さによる科目選択ではなく、幅広い理数科目を履修させることが重要。また、学校の裁量により、最新の科学的知識を学ばせることを奨励。将来、文科系に進む者についても、理数科を適切に学ばせることが、科学技術創造立国を支える国民の素養を高めるために重要。

2. 多様な戦略的アプローチの強化

興味関心と知識の定着を図るためには、様々な角度からの働きかけが有効であり、特に以下の取り組みを強化。

- サイエンスキャンプなどの事業の全国的な展開。サイエンスボランティア等の人材を活用した全国の科学館・博物館等の活性化。
- 科学技術コミュニケーターの育成・ネットワーク化やインターネットを活用した科学技術情報の流通促進。
- すべての研究機関、大学、学協会、企業の研究所などにおける科学技術のアウトリーチ活動の徹底。
- 関連事業を全体としてより効果的なものとするためのコーディネート機能の強化。